

BOP/インクルーシブビジネス研修： 事業性と開発インパクトを両立させるビジネスモデルとは？

新興国・途上国でのビジネスを検討中の方、 ビジネスを通じた開発課題解決を検討中の方に最適の研修です

BOPビジネス元年とも言われた2009年からすでに5年以上が経過し、日本においても様々な業種において成功事例、失敗事例含めてBOP/インクルーシブビジネスの知見が蓄積されてきました。本研修では、BOP/インクルーシブビジネスの第一線で活躍されているビジネススクール教授やJICA、BOPビジネス実践企業といった講師陣が、事業アイデア創出、ビジネスモデル構築に関する知見を皆様にご提供します。新興国・途上国でのビジネスを検討しているがビジネスモデルがうまく描けない、開発課題をビジネスを通じて解決したいが糸口がつかめないという悩みをお持ちの方に最適の研修です。

研修の3つ特色

その1 ビジネスモデル検討のポイントを体験しながら学ぶことができます

本研修では、講演や事例紹介といった座学だけではなく、ケースをもとにビジネスモデルを作り上げるワークショップを行います。講演でビジネスモデルのポイントを学び、事例紹介でその具体例を確認し、そしてワークショップで実際に体験する、このプロセスを経ることで短時間のシンポジウム等にはない深い学びを狙います。

その2 BOPビジネスに必須の異業種パートナーとのネットワークを作れます

本研修は一般企業勤務者、コンサルタント、NGO/NPO勤務者を主たる対象としています。3日間にわたるワークショップでは3者混成のグループに分かれてビジネスモデルを作り上げますが、喧々諤々の議論を通じてできるこれら異業種の参加者とのネットワークは、他では得ることのできない大きな資産となります。

その3 第一線の講師陣にその場で疑問をぶつけ議論することができます

本研修の定員は最大でも24名とし、少人数で実施します。大人数では質問することのできないようなちょっとした疑問やBOP/インクルーシブビジネスを実践する上での課題を、ビジネススクール教授やJICA、BOPビジネス実践企業といった、第一線で活躍する講師陣に質問することができます。

日程、プログラム等の詳細は次ページ以降、
もしくはWebサイト(http://www.fasid.or.jp/training/2_index_detail.shtml)をご覧ください。

企業の方へ

御社の製品・サービスのBOPビジネスモデルを検討してみませんか？

本研修のワークショップでは、参加者の実際の製品・サービスをケースとしてビジネスモデルを検討することができます。ビジネススクール教授によるファシリテーションや、企業、コンサルティング会社、NGO/NPOと異なるバックグラウンドの参加者による議論を通じて、思ってもみなかったアイデアが出ることがあります。過去の研修では、4社の参加企業をケースに、4グループに分かれてビジネスモデルを検討し、うち2社については研修にて企画したビジネスモデルをもとに実際に現地調査まで進みました。ケースになるにあたっては、事前に固まったアイデアがある必要も、発表資料作成等の事前準備の必要もありません。ご関心のある方は、応募フォームにてその旨お知らせ下さい。

研修の詳細

- 主催： 一般財団法人 国際開発機構 (FASID)
- 日時： 2015年5月 11日 (月) 9:15～17:15
18日 (月) 9:15～17:15
25日 (月) 13:00～17:30
- 場所： 当財団セミナールーム(港区麻布台)※詳細はP.4をご覧ください。
- 対象： 新興国・途上国でのビジネスに関心がある一般企業勤務者(中小企業の方歓迎致します)
BOPビジネスによる開発課題の解決に関心があるNPO勤務者、コンサルタント
- 定員： 25名(応募人数が少ない場合、実施を見送る場合があります)

プログラム詳細

5/11 (月) テーマ：事業アイデアの創出		
9:15-9:45	オープニング	(一財) 国際開発機構 (FASID)
9:45-11:15	講演① ～国際開発戦略におけるインクルーシブ/BOPビジネス	政策研究大学院大学 教授 大野 泉氏
11:30-13:00	講演② ～企業戦略としてのインクルーシブ/BOPビジネス	慶應義塾大学ビジネススクール 教授 岡田 正大氏
14:00-15:30	事例紹介①パネルディスカッション	パナソニック(株) 堀田 隆之氏 ヤマハ発動機(株) 西嶋 良介氏
15:45-17:15	ワークショップ① ～事業アイデアの創出	慶應義塾大学ビジネススクール 教授 岡田 正大氏
5/18 (月) テーマ：ビジネスモデルの構築		
9:15-10:15	講演③ ～JICA BOPビジネス連携促進からの教訓	JICA民間連携事業部連携推進課 課長 馬場 隆氏
10:30-11:30	講演④ ～ビジネスモデルのポイント：コンサルタントの視点から	(株) オリナス・パートナーズ 打田 郁恵氏*
12:30-14:00	事例紹介②： パネルディスカッション	公文教育研究会 住友化学(株)
14:15-17:15	ワークショップ② ～BOPビジネスモデルの構築	慶應義塾大学ビジネススクール 教授 岡田 正大氏
*前アライアンス・フォーラム財団 企業パートナーシップ事業部長		
5/25 (月) テーマ：ビジネスプランの策定		
9:30-12:00	グループワーク ※任意参加	-
13:00-16:00	ワークショップ③ ～BOPビジネスプランの策定	慶應義塾大学ビジネススクール 教授 岡田 正大氏
16:15-17:15	発表	慶應義塾大学ビジネススクール 教授 岡田 正大氏
17:15-17:30	クロージング	(一財) 国際開発機構 (FASID)

※講師プロフィールは、Webサイト(http://www.fasid.or.jp/training_detail/26_index_detail.shtml)をご覧ください。

※プログラムは予定であり、予告なく若干の変更がある可能性があります。

一般企業

講師の方もこの分野の専門の方が対応していただき、 単なる講習だけではなく、非常に実践的なアドバイスをいただきました

日本の多くの企業は、従来先進国もしくは成長済のアジア諸国に進出することで成長を果たしてきましたが、これらの国が次々に成熟期になるに伴い、企業が今まで通り成長を続けるには新たな地域や顧客、具体的には途上国の中間層以下を開拓する必要があると感じています。今回の「開発と企業セミナー」では、BOPビジネスを題材に途上国の貧困層に対して企業はどのようにかかわるべきかについて、具体的な案件を元に議論させていただきました。

参加者は民間企業だけではなく、NPOやコンサルタントなど広い分野から集まり、新たな市場に対する問題意識を持っていることから、様々な視点からBOPビジネスに対する意見交換をさせていただきました。また、講師の方もこの分野の専門の方が対応していただき、単なる講習だけではなく、実際に進出するとしたらどのようにすべきか？民間企業、NPO、コンサルタントはそれぞれどのような役割を担うのかについて非常に実践的なアドバイスをいただきました。参加者の皆様とは、セミナー終了後現在も意見交換や情報交換をさせていただいています。そのような意味からも、参加したためになるセミナーだと思えます。

～製造業 研究開発

異なる業種の方々が同じテーマについて垣根を越えて議論をおこない、 様々なアイデアを抽出できた事は、セミナーに参加した最大の収穫でした

私たちは、社内の部門を横断したプロジェクトにおいて「BOPビジネスへの取組み」をテーマに活動を続けておりました。自社のコア技術をBOPビジネスにどのように落とし込めるか、発想を広げる為にこのセミナーに参加させていただきました。

弊社製品をテーマにしたワークショップでは、異なる業種の方々が同じテーマについて垣根を越えて議論をおこない、そこで様々なアイデアを抽出できた事は、このセミナーに参加した最大の収穫でした。

また、実際にBOPビジネスに携わっている方からは、具体的な実情を聞くことができました。日本にいながらBOPビジネスを学ぶ場としては、多数出席したBOPセミナーの中でも最も有意義なものだったと思えます。

～製造業 営業部

コンサルティング会社

普段の業務の中では思いつかないような斬新なアイデアや、 メンバー個々の得意分野を背景とした多様な意見が出されるなど、 活発な議論の中で様々な気づきを得ることができました

勤務先(開発コンサルタント)でBOPビジネス調査に従事しており、同分野の知識・理解を更に深めたいと考え、研修に参加しました。研修は主に「講義」と「ワークショップ」に分かれていましたが、講義では、広範かつ網羅的な内容を非常に分かりやすい形で学ぶことができました。またワークショップは、メーカー、NGO、コンサルタントなど様々な業種・セクターの方々との共同作業となりました。普段の業務の中では思いつかないような斬新なアイデアや、メンバー個々の得意分野を背景とした多様な意見が出されるなど、活発な議論の中で様々な気づきを得ることができました。

総じて、事前の予想・期待を遙かに上回る大変貴重な経験ができました。

～開発コンサルタント

NGO/NPO

実際に途上国の現場で活動する中で、 セミナーで学んだことを肌で感じる事が多くあります

もともと民間企業で働いていましたが、「いつか途上国で働きたい。BOPビジネスなどであれば自分の経験を活かせるのでは」と思い、NGOへ転職し経験を積んでいました。本セミナーは、「まさに自分の学びたいことが詰まっている」と感じ、迷わず応募しました。

セミナーでは、NGO・民間企業・コンサルタント所属の参加者と共に、各分野の専門家の講義を聞きながらディスカッションを深め、各組織の人々がどういった視点で事業に取り組んでいるのかなど、様々な学びがありました。グループ毎のBOPビジネス企画書作りでは、実際に途上国の現場で使われるためにどういった製品であるべきかなど議論が白熱し、最終日までにいくつものメールが飛び交いました。実践を想定した議論によって、前半の講義内容がより深く理解でき、BOPビジネスを実施する上でのキモが掴めたように思います。実際に途上国の現場で活動する中で、セミナーで学んだことを肌で感じる事が多くあります。3日間という短い日数ですが、非常に良くデザインされたセミナーでした。

～NGO職員(バングラデシュ駐在)

応募方法詳細

■応募方法: 下記のオンライン応募フォームよりご応募下さい。

https://form.fasid.or.jp/contact/applicationform_kaihatsukigyo/index.php

■参加費: 37,500円/3日間(税、教材費込)
但し、法人賛助会員・FASIDフレンズ30,000円
NGO/NPOに職員として所属の方18,750円

■募集締切: 2015年4月24日(金)正午まで
締め切り後3営業日以内に参加の可否及び参加費の支払方法などについてのご案内を差し上げます。なお、応募状況によっては、ご期待に添えない場合があります。

■お問合せ先:
一般財団法人 国際開発機構(FASID) 人材開発事業部 藤田

電話: 03-6809-1996 / Email: kaihatsukigyo2015@fasid.or.jp

住所: 〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5メソニック39MTビル6F

アクセス:

東京メトロ日比谷線 神谷町駅 1番出口より徒歩6分

都営大江戸線 赤羽橋駅 中之橋口より徒歩7分

都営三田線 御成門駅 A1出口より徒歩10分



FASIDのご紹介

(一財)国際開発機構(FASID)は、2012年10月1日に設立されました。その前身である財団法人国際開発高等教育機構は、外務省・文部省(当時)共管により1990年に設立され、以来20年間以上一貫して、国際開発に関わる人材育成事業、及び開発援助の効果的効率的な実施のための調査研究事業を実施してきました。これまで行政官、援助実施機関、開発コンサルタント、NGO、大学関係者(教員及び大学院生)、民間企業社員などを対象に多種多様な人材育成事業を実施してきました。受講生総数は延べ31,000人を数えています。

「開発と企業セミナー」は外務省委託により1998年に開講しました。開始当初は、貿易・投資といった企業活動が開発途上国の経済・社会的発展に与える影響を「国際開発」の視点から分析・議論してきました。その後、今日まで国内・海外の講師にご協力いただき、国際開発と企業に係わる新たな動きをいち早く本セミナーで取り上げ紹介することも含め、国際開発分野の研究と実践現場を繋ぐパイオニア的役割を果たしてきました。

2012年度より本セミナーは、FASIDの、公益目的の自主事業として実施することになりました。FASIDは、引き続き皆様の役に立つセミナーを提供してまいります。